

2006年10月31日

2007 - 5

## NANIWA 38号

### 福井支店抗議要請行動を終えて(金沢分会記)

福井支店では初めての抗議行動でしたが、大変有意義で充実したものでした。仲間のありがたさと絆の強さを感じた一日でした。今後もなにかありましたら、ご支援ください。県労連と連絡を密にして運動をすすめていきます。

抗議行動に先立ち、尺八の音色が辺り一面を包み込みました。尺八が繰り出す寂しげな音色や荒涼たる雰囲気は、あたかも東京海上日動のすさんだ現状を象徴するかのようでした。そして、支部・京阪神の仲間の怒りのスピーチが始まりました。もちろんそれは、切実な、人生を賭けた訴えなので、道行く人の心をつかんだに違いありませんし、支店内にいる従業員の耳にも届いたものと確信します。ボルテージは上がり自然とその場の雰囲気は熱いものになっていきました。最後に行なわれた大阪地協のシュプレヒコールは、福井の街では聞いたことがないほどの爆音で、支店ビルを吹き飛ばすかのような勢いでした。

要請の段になり、支店の対応は、相変わらずのマニュアル通りのものでしたが、地方支店ならではの免疫のなさが露呈してしまい、その情けない対応は後世に語り継がれるでしょう。

福井の方々、めったに行われないこのような抗議行動に驚きながらも、私たちの発する声や内容を聞き取ろうとしていましたし、私たちが手渡すビラもほとんど受け取ってくれました。地方ならではの素朴さ、県民性をあらためて感じました。この抗議要請に参加し、あらためてこの仲間とともに、最後の最後までたたかっていこうと思いました。たたかいはまさにこれからが正念場です。勝てるたたかいではありますが、油断することなく、できることを精一杯やっけていこうと思います。(必勝祈願！後日要請団一行は永平寺に祈願されたと聞いております。)遠路はるばる福井にお越しいただいた皆様、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

全損保日勤外勤支部大阪分会

ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために